

令和8年度

里浦小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 豊かな心を持ち、ともによりよい生き方を求め行動する子どもの育成
- ①楽しさと充実感を味わい、「確かな学力」を身に付ける学びの実践
- ②自ら学び、主体的に考え、表現する力を養う指導内容や指導方法の工夫・改善
- ③一人一台端末の効果的活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等，様々な機会を捉え，取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組 み，基礎的・基本的な知識技能を習得 できている児童が多い。 ●学んだ知識を関連付け，応用する ことが難しい。 ●学力の二極化が見られる。 ●文章の要旨や意図を捉えることに課 題がある。	・他の学習や生活場面で活用すること ができるように，基礎的・基本的な知識 技能を確実に身に付ける。 ・文章の要旨を捉えたり，問いの意図を 正しく理解したりすることができる。	・問題を読んで，内容を絵や図に表す 活動を取り入れる。 ・AIDリルを活用し，児童が個々に適し た課題に取り組むことができるようにす る。 ・子ども新聞や本を活用する場面を増 やし，様々な文章を読む機会の充実を 図る。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○みんなの前で自分の意見を発表したり， 話し手の意見をしっかり聞いたりす ることができる児童が多い。 ●複数の資料の中から情報を取捨選 択したり，根拠を明らかにしたりして，自 分の考えを述べることに課題である。 ●自分の考えを相手にわかりやすく説 明することに課題がある。	・課題解決に向けて様々な情報を整理 分析し，自分の考えを根拠や理由ととも に表現することができる。 ・相手意識や目的意識を持って対話が でき，仲間と協働することで思考を広げ 深めることができる。	・すべての教科において，絵や図，写真や 動画を見せながら説明する活動を設定し， わかりやすく伝えることを意識させる。 ・根拠となる情報を集め，それをもとに自分 の考えをまとめたり，思いを伝えたりするな どの機会を設ける。 ・生成AIや思考ツールを活用し，対話を行っ たり，文章を書く機会を多く取り入れたりす る。 ・ソーシャルスキルトレーニングを活用し， 聞く力の向上を図る。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられた課題には真面目に取り組 み，最後までやり遂げる児童が多い。 ●難しいことや不得意なことに対して， 自分で計画を立てて，克服しようとする ことに課題がある。	・自分の学習の課題と目標を明確に持 ち，計画を立て，進んで課題解決するこ とができる。 ・学習活動を通して，互いを認め合い， 励まし合って共に高め合おうとすること ができる。	・学習方法の自己決定や，一定期間での自 己調整を促す課題に取り組ませるなど，児 童が主体的に学ぶ場面を多く設定する。 ・授業内だけでなく，授業外でも一つのこ とをやり抜く場面を作り，達成感を味わうこ とができる活動を増やす。			